

携帯端末向けマルチメディア放送に関する調査検討会

開催趣旨

アナログテレビ放送の停波後の周波数の一部を利用した携帯端末向けマルチメディア放送(VHF-High 帯)は、平成 24 年 4 月より東名阪及び九州・沖縄で、同年 12 月には札幌市及び旭川市において放送が開始されており、平成 25 年度内には、全都道府県においてサービスが開始される予定です。

携帯端末向けマルチメディア放送(VHF-High 帯)は、ビル陰又は地形等の条件により難視となる地域等、良好な受信ができない地域が発生します。また、移動受信を主な受信形態としていることから、相当規模存在する局所的な難視地域を早期に解消するとともに、受信者が特別の操作をしなくても継続した受信が可能な安価で効率的な送信システムの開発が待たれているところです。

また、中継局への伝送路として衛星を利用していることから、地上での影響を受けにくく、災害時等に通常の中継局の設備が機能しなくなった場合等においても、臨時中継局(衛星波中継方式による放送局)を設置しやすいというメリットがあり、災害時等においても有効な情報伝達手段のひとつとして期待されています。

このような背景を踏まえ、本調査検討会では、各分野の専門家の皆様にお集まりいただき、携帯端末向けマルチメディア放送(VHF-High 帯)の安定的な受信環境確保に向け、難視聴地域における中継送信システムの技術的条件及び非常災害時等における衛星波中継方式による情報伝達の手法に関する調査検討を行います。